

- 講師：石田 直樹(税理士法人石田経理事務所)
- 日時：2017年7月18日(火) 13:30~17:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：7名

[プログラム]

- 導入「あなたの給料はだれが払っているのか？」
- 講座1「決算書は誰のためにあるのか？」
- 講座2「3つの決算書の関係」
- 講座3「簡単!ブロックパズルで分かる会社の未来」
- 講座4「資金繰りについて」

## プロの会計士さんが教える会計学 財務会計

今回は会計士である石田直樹さんが講師です。前半は講話として、決算書が誰の為に作られるのかという事と、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフローの見方と関係について解説いただきました。その中で「決算書は、一番は経営者の為であり、決算書の数字を基に経営者は舵を取る事が必要」というお話がありました。後半は個人ワークとグループワークを行いました。個人ワークでは、実際の決算書からブロックパズルを作り、労働分配率や粗利益率を求め、規模の近い同業他社と比較をし、企業の状態を読み取る練習をしました。グループワークでは石田さんが用意した資金繰り表を見て、「何が問題で、どうすれば危機的状況を脱却できるか」について話し合いました。最後に「決算書を理解するには、毎月見る、前月と比較する、他社と比較する、そして会計士に聞いて数字の変動を見る事でその会社の状況が分かる」というメッセージをいただきました。

決算書の読み方や資金繰りなど普段見ることのない会社の動きを学ぶ事が出来た貴重な機会となりました。



[講師より]



税理士法人石田経理事務所  
石田直樹

この度は、受講生としていつも参加させていただいているhakushindo CAMPUSの講師をさせていただく機会をいただきましてありがとうございました。

今回は、決算書の重要性や決算書をどのようにして分析するか、資金繰りとの関係をどう見るか?を中心に講義を進めたつもりです。

今回は、実際の会社の決算書をベースにワークをしていただきました。ただの例題よりも切実さが伝わったのではないかと思います。また、資金繰り改善ワークもプログラムに取り入れました。やはりみなさま実務家ですので、与えられた事例で色々前提条件を考えている色々な解があって、こちらの方が参考になりました。資金繰り改善ワークは損益計算書や貸借対照表ではわからない裏側が見えるので、これが今後の営業や製造部門の活動に少しでも良い影響を与えてくれれば幸いです。ありがとうございました。



CHECK OUT CARD

資金繰りに気を  
付けて仕事を  
していきます。

CHECK OUT CARD

- ・会社の現物資材を  
使用してほしい
- ・折角のメモが回収  
できていない

CHECK OUT CARD

資金繰りは  
大変だ。

CHECK OUT CARD

資金繰りは  
生きもの。

CHECK OUT CARD

資金繰り表に対する  
シミュレーションが  
楽しかった。(グーグル)

ありがとうございました。

IPDの方が強いのだから  
楽しかったです...

CHECK OUT CARD

以前習った事を思い  
出し、また、新しい  
事を勉強させていた  
だけ、良い機会に  
なりました。

ありがとうございました。

